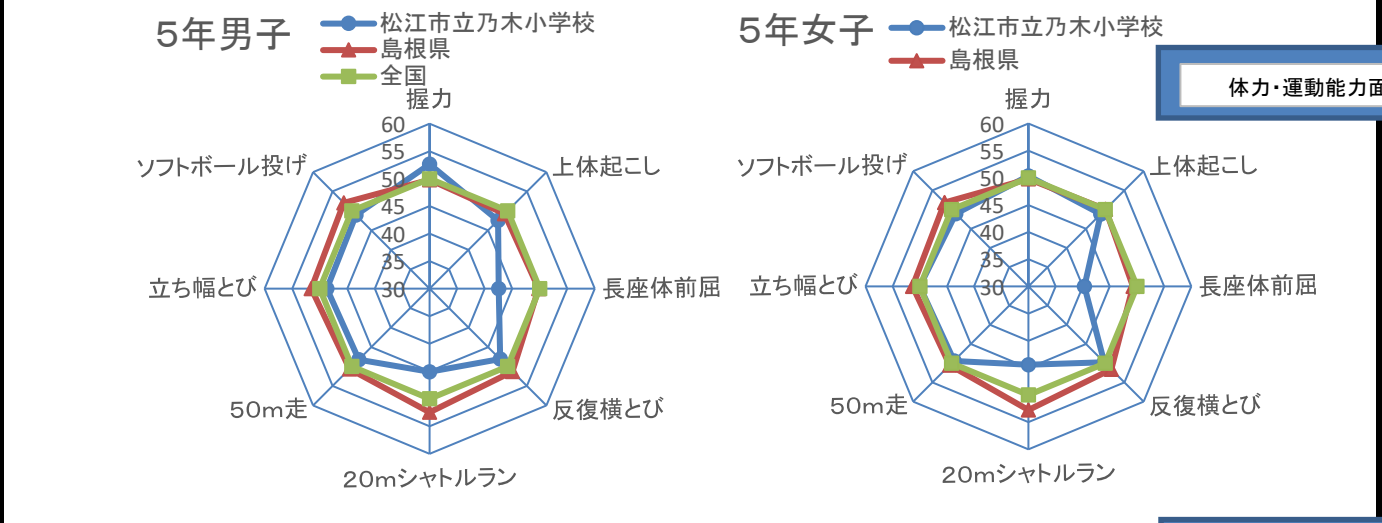
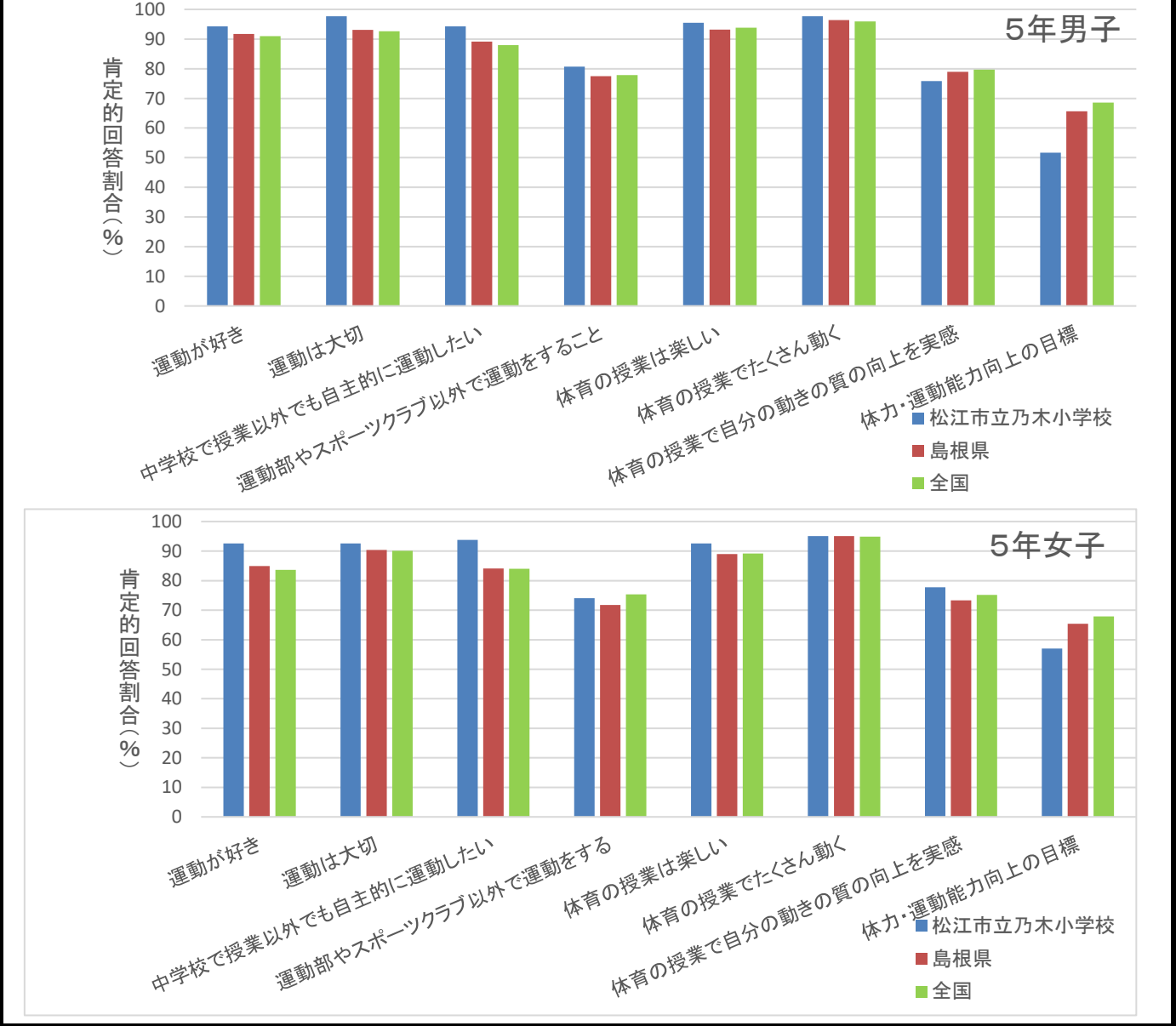


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果  
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



強み
○男子、女子ともに「握力」が全国平均を上回っている。特に「筋力」が強み。
課題
●男子、女子ともに「長座体前屈」「シャトルラン」が全国平均を大きく下回り、特に「柔軟性」「全身持久力」が課題。
次年度の対策
・体育の授業の中で柔軟性を高める運動を取り入れる。 ・体育の授業の中でマラソントimeを設定し、全身持久力を高める運動を取り入れる。

強み
○男子では「運動が好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」「体育の授業でたくさん動く」の割合が全国平均よりも高い。 ○女子では「運動が好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」の割合が全国平均よりも高い。
課題
●男子では「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」「体力・運動能力の向上」の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
・一人一人が自分に合った目標を設定し、運動に取り組めるように工夫する。 ・できるようになったという喜びを得られるような場面を増やす工夫をする。単元によっては、自分に合った練習の場を選択できるように工夫する。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について  
・鉄棒運動やなわとび運動の指導方法について、校内で研修する機会を長期休業中に設定する。
- ②体育科授業の工夫・改善について  
・タブレットを活用しながら、手本となる児童の体の動きを見て学んだり、自分の体の動きを分析したりしながら運動のポイントをより意識して取り組めるようにする。  
・児童一人一人に合った目標を設定し、できるようになった喜びを味わえる場を増やせるように工夫する。  
・新体力テストで課題となっている「柔軟性」「全身持久力」を高める運動を体育の始まりの時間に取り入れる。
- ③体育授業以外の活動の工夫について  
・姿勢体操を継続して取り組み、体幹強化を図る。  
・体育委員会の長縄大会や鉄棒教室等を開催し、全校に運動の機会を呼びかけていく。
- ④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について  
・1学期末に体力テストの結果と運動例を示したプリントを渡し、長期休業中に自己の課題にあった運動に取り組めるようにする。